

貸借対照表

2025年 3月31日現在

一般社団法人 日本臨床発達心理士会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,298,284	83,048,072	△ 74,749,788
未収金	24,994,409	17,412,501	7,581,908
前払金	539,432	257,438	281,994
流動資産合計	33,832,125	100,718,011	△ 66,885,886
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
積立預金	61,754,881	0	61,754,881
特定資産合計	61,754,881	0	61,754,881
(2) その他固定資産			
什器備品	342,095	96,382	245,713
その他固定資産合計	342,095	96,382	245,713
固定資産合計	62,096,976	96,382	62,000,594
資産合計	95,929,101	100,814,393	△ 4,885,292
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	16,191,670	12,851,647	3,340,023
前受会費	29,395,700	32,205,000	△ 2,809,300
預り金	185,017	135,083	49,934
流動負債合計	45,772,387	45,191,730	580,657
負債合計	45,772,387	45,191,730	580,657
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	50,156,714	55,622,663	△ 5,465,949
正味財産合計	50,156,714	55,622,663	△ 5,465,949
負債及び正味財産合計	95,929,101	100,814,393	△ 4,885,292

正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 日本臨床発達心理士会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	37,325,000	36,070,000	1,255,000
正会員	37,190,000	36,000,000	1,190,000
準会員	125,000	70,000	55,000
賛助会員	10,000	0	10,000
事業収益	26,547,115	20,047,500	6,499,615
資格更新研修会	23,407,900	18,215,000	5,192,900
全国研修会	11,425,500	9,690,500	1,735,000
全国大会	11,982,400	8,524,500	3,457,900
テーマ別研修会	1,310,000	0	1,310,000
支部	1,829,215	1,832,500	△ 3,285
支部主催資格更新研修会参加費	1,828,500	1,741,500	87,000
受取利息	715	0	715
雑収益	0	91,000	△ 91,000
雑収益	145,803	110,272	35,531
受取利息	25,803	272	25,531
その他	120,000	110,000	10,000
経常収益計	64,017,918	56,227,772	7,790,146
(2) 経常費用			
事業費	47,272,167	40,530,032	6,742,135
資格更新研修会関係費	28,243,778	19,631,750	8,612,028
全国研修会	14,747,758	11,516,592	3,231,166
全国大会	13,496,020	8,115,158	5,380,862
テーマ別研究会関係費	149,769	0	149,769
支部活動費	15,118,624	14,493,421	625,203
実践研究誌関係費	3,450,318	4,167,828	△ 717,510
広報関係費	190,762	2,232,713	△ 2,041,951
災害対策関係費	118,916	4,320	114,596
管理費	22,462,600	18,349,165	4,113,435
社員総会会議費	1,022,431	884,955	137,476
理事会会議費	131,850	1,230,767	△ 1,098,917
委員会会議費	536,472	648,588	△ 112,116
執行部会議費	328,468	21,870	306,598
執行部行動費	46,268	30,562	15,706
支部会議費	1,715,992	937,992	778,000
事務所関係費	468,610	0	468,610
旅費交通費	420	0	420
通信運搬費	605,574	539,545	66,029
備品費	0	64,984	△ 64,984
消耗品費	5,890	1,881	4,009
他団体関係費	202,185	208,960	△ 6,775
租税公課	600	0	600
支払手数料	978,835	221,645	757,190
委託費	16,300,447	13,401,892	2,898,555
専門士業関係費	88,000	155,524	△ 67,524
雑費	30,558	0	30,558
経常費用計	69,734,767	58,879,197	10,855,570
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,716,849	△ 2,651,425	△ 3,065,424
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 5,716,849	△ 2,651,425	△ 3,065,424
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄付金	315,000	29,754,000	△ 29,439,000
経常外収益計	315,000	29,754,000	△ 29,439,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	315,000	29,754,000	△ 29,439,000
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,401,849	27,102,575	△ 32,504,424
法人税、地方税及び事業税	64,100	23,300	40,800
当期一般正味財産増減額	△ 5,465,949	27,079,275	△ 32,545,224
一般正味財産期首残高	55,622,663	28,543,388	27,079,275
一般正味財産期末残高	50,156,714	55,622,663	△ 5,465,949
II 正味財産期末残高	50,156,714	55,622,663	△ 5,465,949

予算対比正味財産増減計算書

2024年 4月 1日から2025年 3月31日まで

一般社団法人 日本臨床発達心理士会

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	37,250,000	37,325,000	△ 75,000
正会員	37,000,000	37,190,000	△ 190,000
準会員	250,000	125,000	125,000
賛助会員	0	10,000	△ 10,000
事業収益	27,275,000	26,547,115	727,885
資格更新研修会	25,285,000	23,407,900	1,877,100
全国研修会	13,200,000	11,425,500	1,774,500
全国大会	12,085,000	11,982,400	102,600
テーマ別研修会	0	1,310,000	△ 1,310,000
支部	1,970,000	1,829,215	140,785
支部主催資格更新研修会参加費	1,960,000	1,828,500	131,500
受取利息	0	715	△ 715
雑収益	10,000	0	10,000
広告費	20,000	0	20,000
雑収益	10,100	145,803	△ 135,703
受取利息	100	25,803	△ 25,703
その他	10,000	120,000	△ 110,000
経常収益計	64,535,100	64,017,918	517,182
(2) 経常費用			
事業費	45,475,000	47,272,167	△ 1,797,167
資格更新研修会関係費	23,085,000	28,243,778	△ 5,158,778
全国研修会	11,000,000	14,747,758	△ 3,747,758
全国大会	12,085,000	13,496,020	△ 1,411,020
テーマ別研究会関係費	300,000	149,769	150,231
支部活動費	15,000,000	15,118,624	△ 118,624
実践研究誌関係費	4,430,000	3,450,318	979,682
広報関係費	2,500,000	190,762	2,309,238
調査関係費	10,000	0	10,000
渉外関係費	50,000	0	50,000
災害対策関係費	100,000	118,916	△ 18,916
管理費	17,336,200	22,462,600	△ 5,126,400
社員総会会議費	954,000	1,022,431	△ 68,431
理事会会議費	842,000	131,850	710,150
委員会会議費	967,000	536,472	430,528
執行部会議費	122,000	328,468	△ 206,468
執行部行動費	30,000	46,268	△ 16,268
支部会議費	1,871,200	1,715,992	155,208
人件費	10,000	0	10,000
事務所関係費	10,000	468,610	△ 458,610
旅費交通費	0	420	△ 420
通信運搬費	600,000	605,574	△ 5,574
備品費	200,000	0	200,000
消耗品費	100,000	5,890	94,110
印刷製本費	10,000	0	10,000
他団体関係費	210,000	202,185	7,815
租税公課	0	600	△ 600
支払手数料	230,000	978,835	△ 748,835
委託費	11,000,000	16,300,447	△ 5,300,447
専門士業関係費	170,000	88,000	82,000
雑費	10,000	30,558	△ 20,558
予備費	723,900	0	723,900
経常費用計	63,535,100	69,734,767	△ 6,199,667
評価損益等調整前当期経常増減額	1,000,000	△ 5,716,849	6,716,849
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,000,000	△ 5,716,849	6,716,849
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄付金	90,000	315,000	△ 225,000
経常外収益計	90,000	315,000	△ 225,000
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	90,000	315,000	△ 225,000
税引前当期一般正味財産増減額	1,090,000	△ 5,401,849	6,491,849
法人税、地方税及び事業税	0	64,100	△ 64,100
当期一般正味財産増減額	1,090,000	△ 5,465,949	6,555,949
一般正味財産期首残高	55,622,663	55,622,663	0
一般正味財産期末残高	56,712,663	50,156,714	6,555,949
II 正味財産期末残高	56,712,663	50,156,714	6,555,949

財産目録

2025年 3月31日現在

一般社団法人 日本臨床発達心理士会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金	普通預金	運転資金として	1,255,766	
		GMOあおぞらネット銀行		0	
		GMOあおぞらネット銀行	北海道支部	13,387	
		GMOあおぞらネット銀行	東北支部	868	
		GMOあおぞらネット銀行	栃木支部	11,513	
		GMOあおぞらネット銀行	群馬支部	63,919	
		GMOあおぞらネット銀行	茨城支部	30,358	
		GMOあおぞらネット銀行	埼玉支部	35,830	
		GMOあおぞらネット銀行	千葉支部	70,456	
		GMOあおぞらネット銀行	東京支部	120,052	
		GMOあおぞらネット銀行	神奈川支部	16,698	
		GMOあおぞらネット銀行	東海支部	202,090	
		GMOあおぞらネット銀行	長野支部	22,718	
		GMOあおぞらネット銀行	北陸支部	92,753	
		GMOあおぞらネット銀行	京都支部	207,194	
		GMOあおぞらネット銀行	滋賀支部	3,570	
		GMOあおぞらネット銀行	奈良支部	71,272	
		GMOあおぞらネット銀行	大阪・和歌山支部	89,083	
		GMOあおぞらネット銀行	兵庫支部	38,329	
		GMOあおぞらネット銀行	中国・四国支部	17,714	
		GMOあおぞらネット銀行	九州・沖縄支部	147,962	
		未収金	郵便振替	運転資金として	7,042,518
			会費用		7,042,518
年会費	クレジット・コンビニ決済分		16,265,000		
前払金	全国大会・全国研修会	クレジット・コンビニ決済分・助成金	7,705,500		
	支部研修会	クレジット・コンビニ決済分等	1,023,909		
	全国大会		539,432		
	社員総会・理事会	翌事業年度委員旅費等	255,378		
	茨城支部	翌事業年度会場費	225,500		
	神奈川支部	翌事業年度会場費	4,814		
	その他	翌事業年度会場費	33,830		
		翌事業年度トランクルーム経費	19,910		
流動資産合計				33,832,125	
(固定資産)	特定資産	積立預金	普通預金	61,754,881	
			住信SBIネット銀行	61,754,881	
	その他固定資産	什器備品			342,095
			北海道支部	備品	140,405
		栃木支部	備品	149,792	
		奈良支部	備品	51,898	
固定資産合計				64,911,095	
資産合計				98,743,220	
(流動負債)	未払金	全国研修会	全国研修会経費	16,191,670	
		テーマ別研究会	活動経費	1,851,843	
		災害対策関係費	活動経費	117,451	
		各支部	活動経費	44,893	
		各理事・委員	研修会・役員会等経費	1,008,293	
		(株)国際文献社	会議費	1,312,000	
		(株)国際文献社	全国大会業務委託費	1,425,407	
		(株)国際文献社	全国研修会業務委託費	2,871,598	
		(株)国際文献社	支部研修会業務委託費	3,399,991	
		(株)国際文献社	1-3月分業務委託費	4,153,426	
			立替通信費等	6,768	
		前受会費	正会員	翌事業年度以降年会費	29,395,700
			準会員	翌事業年度以降年会費	29,310,700
賛助会員	翌事業年度以降年会費		70,000		
預り金		翌事業年度以降年会費	15,000		
	源泉税	給与及び報酬 源泉預り分	185,017		
	その他		105,017		
			80,000		
流動負債合計				45,772,387	
負債合計				45,772,387	
正味財産				50,156,714	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
什器備品は、定額法による減価償却を実施している。

附属明細書

1. 該当事項なし

監査報告

2025年 5月 24日

一般社団法人日本臨床発達心理士会

代表理事 近藤 清美 殿

一般社団法人日本臨床発達心理士会

監事 滝澤 真毅 ㊞

監事 吉田 ゆり ㊞

監事は、2024年4月1日から2025年3月31日までの第3期事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

監事監査に関するコメント

令和7年5月25日

監事 滝澤 真毅

監事 吉田 ゆり

監事監査に関しては別紙報告の通りであるが、以下、気づいた点についてコメント申し上げます。

会計に関して

- 昨年度同様、緻密な会計処理、厳密な書類の整理を継続していただき、監査作業の正確性や迅速性を得られています。
- できる限り士会の会計書式である入金伝票、出金伝票等の使用をお願いします。また、領収書の宛名・品名の記入の不明なものが散見します。記入の徹底をはかることを周知ください。さらに少数ではありますが領収書データの印字が不鮮明なものがありました。こちらも注意喚起をお願いします。
- 経常費用の赤字項目が非常に多く、赤字額の大きいものが存在します。赤字原因については特定もできており、説明もいただきましたので承知いたしました。赤字解消に向けた見直しを図り、次年度以降の予算作成の根拠としてください。

業務に関して

- 全体の活動今後もさらに、会員を増やすため、会員の研修の質の向上に向けた研修の充実をお願いしたい。
- 会員を増やすための具体的方策について、士会全体に明確に伝えてほしい。
- 職能団体としての士会の役割を考えたとき、大規模災害への支援の体制づくりは、小規模・広域の支部への援助も含め、避けて通れない課題である。そのことを踏まえ、士会の活動としての位置づけをもう少し明確化する必要があるのではないかと。